

4-4 文化・芸術の振興

○丹波篠山市立文化施設4館運営の充実

篠山城大書院、歴史美術館、青山歴史村、武家屋敷安間家史料館において、特別展やお城こどもガイド、戦国祭等各施設の特徴を生かした事業を実施し、丹波篠山市の歴史文化の魅力を発信します。



お城こどもガイド

○市民ニーズに沿った芸術文化ホールの利活用

芸術文化の鑑賞や発表の場として市民みんなが「交流」、「感動」し、市民とともに芸術文化を「創造」できる拠点として、利用者が親しみやすい環境づくりに努めます。

4-5 自然遺産に学ぶ教育の充実

○脊椎動物化石保護・活用事業

新種恐竜化石が発見された宮田重点保護区域において、篠山層群および脊椎動物化石の調査と研究を行います。太古の生きものの館を体験学習の拠点とし、篠山層群の恐竜を含む脊椎動物化石の展示や露頭の展示を行います。化石発掘体験イベントや化石クリーニング体験を実施します。



宮田重点保護区域での
篠山層群露頭見学

施策の基本方向5

郷土を愛し担う人材育成の推進

5-1 ふるさと丹波篠山を愛する心の育成

○「ふるさと教育」の推進

ボランティア活動や地域の行事への参加等、体験的な学習や地域の人々とのふれあいを通して、児童生徒が伝統、文化、自然、産業、食文化等を学び、ふるさとへの誇りと愛着心を育む、地域と連携した「ふるさと教育」を推進します。



古文書講座中級編

○古文書講座の実施

郷土に伝わる古文書の解読や学びを通して、丹波篠山の歴史への興味や関心を高め、古文書を大切に守り伝えていく心を育みます。

5-2 学校給食の充実と食育の推進

○農都のめぐみ米・地元食材を活用した学校給食の充実

河川の水質や田んぼの生きものに配慮して栽培された「農都のめぐみ米」の使用、地元野菜の安定的な使用および地元食材の活用に取り組むとともに、地元産の有機栽培野菜もできるだけ取り入れます。社会情勢に伴う物価高騰が長期化する中、平成21年以降改定を行っていない給食費について、令和8年度より給食費単価を増額改正します。一方で、保護者負担の増加を考慮し、小学生は国の施策等により給食費を無償化するとともに、幼稚園・こども園園児および中学生については市の子育て支援策として、改正後の給食費の半額を補助します。これにより、実質的な保護者負担の軽減を図りながら、学校給食の質および量を維持し、引き続き安定した提供を行っていきます。



丹波篠山茶を使った献立
(サワラの茶ノベーゼソース)

令和8年度

丹波篠山の教育

概要版



オオムラサキの観察

教育理念

「一人一人が光り輝き、幸せに生きる」

～子どもが自ら学ぶ、地域とともにある学校づくり～
～学びの機会の充実と、生きがいを感じるまちづくり～

丹波篠山市教育委員会



令和8年度 丹波篠山の教育（概要版）

発行
問い合わせ

丹波篠山市教育委員会事務局（兵庫県丹波篠山市北新町41）
丹波篠山市教育委員会 学校教育部 教育総務課（TEL 079-552-5709）

丹波篠山の教育の
詳細はこちらから



つながりを大切に、一人一人が幸せに生きる

丹波篠山市では、市の魅力（美しい景観、豊かな自然・文化・食・人情等）を生かして、教育・子育て・スポーツ・文化・芸術等のあらゆる分野で、**市子育ていちばん条例**の理念も踏まえ、**つながり**を大切にした取り組みにより、心豊かでたくましく、素直で優しく、あたたかい子ども、市民が育まれています。

学校園教育においては、社会情勢の激変や情報技術の急速な発展等により、変化の激しい**予測困難な時代**に、子どもたちが主体的に人生を切り開き、人生で出会うさまざまな問題に積極的に立ち向かい、多様な人々とつながり、協働して、よりよい解決を図って**人生を生き抜いていく力**の育成をめざします。そして、その原動力となる**自己肯定感・自尊心**を、子どもたちの主体的・自発的な活動を通して「認める」「ほめる」「励ます」を基本に育んでいきます。

特に、少人数を生かしたきめ細かな指導で、子どもたちの資質・能力を伸ばし、困りごとに寄り添う「**一人一人を大切に**する教育」の実現に取り組むとともに、近年増加する「不登校児童生徒」や「支援が必要な児童生徒」に対して、子どもや家庭との**つながり**を大切にし、個別の事情に配慮した気持ちに寄り添う対応を心掛け、チーム学校で福祉や医療、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも**つながり**、学校復帰だけでなく社会的自立に向けた支援をしていきます。何よりも全ての子どもが安心して学べ、行きたいと思える**楽しい学校園**をつくっていきます。

さらに、学校園教育においては「**異学年（異年齢）交流**」を積極的に進め、下級生（年下の子）の上級生（年上の子）に対する憧れの気持ちや、上級生の下級生への思いやりの気持ちを育てるとともに、地域やボランティア団体等の多様な人々との交流や**つながり**を生かして、**心豊かでたくましくあたたかい子どもたち**を育んでいきます。

学校園教育に加えて社会教育、芸術・文化・スポーツ等、あらゆる分野において、心身ともに健康で社会的にも良好な多面的幸福が持続する状態「**ウェルビーイング（Well-being）の実現**」を目標に、基本的な生活習慣づくり「眠育、食育、あそび」、ICTの有効活用、自分らしく生きるキャリアプラン、インクルーシブ教育、コミュニティ・スクール、ふるさと教育、スポーツ・文化・芸術の振興、文化財の保全と活用等の施策を展開するとともに、個人のウェルビーイング（幸福）と社会のウェルビーイング（幸福）が相互に循環して互いに高め合う「**助け合い・つながり合う**」共生社会の実現をめざします。

丹波篠山市教育長 た ん ご ま さ と し
丹後 政俊

施策の基本方向 1 子どもの根っこを育てる保育・教育の推進

1-1 ふた葉プロジェクトの推進

○食育の推進

人生における食習慣の基礎を決定づける大切な時期に、年間指導計画に基づき、保護者と連携しながら食育を行います。社会情勢に伴う物価高騰により、現行給食費では不足する経費については、保護者負担を増やさないよう給食の質を維持しながら創意工夫し提供します。



夏野菜カレークッキング

1-2 乳幼児教育の充実

○諸感覚を発達させる保育・教育活動

次代を担う子どもの誕生を祝うとともに、豊かな感性と自然への愛着を育むため、“箱を開けた瞬間から、丹波篠山で育った木のいい香りに包まれる”積み木セット「丹波篠山 森からのおくりもの」を贈呈します。

○保育園・幼稚園・こども園の環境整備

城東保育園・かやのみ幼稚園を統合し、「（仮称）城東認定こども園」の新築整備を行うとともに、にしき保育園の施設改修を行います。また、篠山・たまみず・岡野幼稚園を令和9年4月に篠山幼稚園の場所に統合する方向性が決定したため、関係機関等とともに統合の準備を進めていきます。定員超過等の理由により希望した保育園やこども園に入所できず、遠方の保育園等に入所することになった園児の保護者を対象に、遠距離通所に係る補助を行います。保育士人材等を確保するため、保育現場で働きたい人を対象に「保育・教育就職フェア」および「園見学ツアー」を実施するとともに、保育士資格等の取得に係る通信教育講座の受講料等について10万円を上限に助成します。



自然あそび

1-3 子ども・子育て支援の体制づくり

○子育ていちばんに向けて 新規

子育ていちばん条例に基づく「子育てしやすい・子育てしたくなるまち」、子どもや子育て中の人々が気兼ねなくさまざまな制度やサービスを利用できるよう、さまざまな場で、年齢、性別を問わず、全ての人々が子どもや子育て中の人を応援する「こどもまんなか社会」の実現に向けて取り組みます。



預かり保育の様子

○乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度） 新規

全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらずの支援を強化するため、令和8年度から、こども園、保育園、地域型保育事業所等に通っていない0歳6カ月から満3歳未満の未就園児を対象に、月一定時間の利用枠の中で、就労要件を問わず、時間単位で保育施設等を利用できる「乳児等通園支援事業」を実施します。



こども誰でも通園制度「まめっこ」

○地域子育て支援拠点施設の活動支援

子育てについて気軽に話ができ、情報や知識を共有し、心を許せる仲間と出会え、子育て親子の交流を促進する場の提供等、地域における子育て支援機能の充実を図ります。

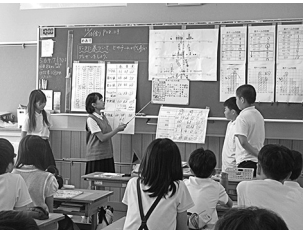
地域において乳幼児およびその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う「プティプリ」「アグリステーション丹波ささやま」の活動を支援します。

施策の基本方向 2 予測困難な時代を生き抜く力を育む教育の推進

2-1 確かな学力の育成

○学力向上プロジェクト事業

学校教員を核とした「学力向上プロジェクトチーム」を設置して、「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」と「全国学力・学習状況調査」の結果分析を生かし、「確かな学力」の定着に向けた方策を研究・推進します。



学び合いの授業

○児童生徒の可能性を引き出す指導の充実

児童生徒一人一人の可能性を引き出す指導の一層の充実を図るために、少子化が進む中、進めてきた少人数を生かした教育や異学年活動、小学校での教科担任制等、学習形態を工夫し、自ら学ぶ力を引き出す学習指導を展開します。

2-2 豊かな心の育成

○学校における人権教育の充実

全ての教育活動を人権教育の視点で捉え、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる態度や資質を育成します。同和問題が人権問題の重要な柱であると捉えつつ、いじめ、インターネットによる人権侵害、性の多様性、ヤングケアラー等、今日的な人権課題も含め、人権に関わるさまざまな課題について考える機会を設け、児童生徒の人権意識を高めます。



人権学習ツアー
皮革工場の見学

○いじめの防止等への的確な対応

いじめは、「どの子どもにも、どの学校にも起こり得る」ことを踏まえ、学校、家庭、地域が一体となって、未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。教職員が子どもたちの小さな変化を敏感に察知し、いじめ認知能力を向上させ、「いじめ見逃しゼロ」に取り組み、初期段階から適切に対応し、いじめの重大事態化、深刻化を防ぎます。

○不登校の支援と未然防止への対応 **拡充**

小さな心のSOSを見逃さず、関係機関や心理や福祉の専門家と連携しながら「チーム学校」で支援し、不登校の未然防止、早期対応に努めます。クラスに入りづらい児童生徒に対し、落ち着いた空間で、学習支援や生活支援を行う「校内サポートルーム」の設置や不登校児童生徒支援員の配置等も含め、「自分の居場所や多様な学びの場」がある学校教育の充実に努めます。「学校に登校する」ということのみを目標とすることなく、個に応じた多様な対応に努め、教育支援センター「ゆめハウス」や丹波篠山市児童発達支援センター「わかば」、フリースクール等の民間通所施設等と連携し、社会的自立を支援する取り組みを推進します。

○読書活動の充実

学校図書館の充実を図るとともに、中央図書館の団体貸出・配送を活用し、読書活動の充実を図ります。



読み聞かせ活動

○体験活動の充実

小学5年生対象の「自然学校」や中学2年生対象の「トライやる・ウィーク」等の体験活動における試行錯誤の中で自己認識や自尊感情を高め、人間としての在り方や生き方を考えさせます。また、達成感や自己有用感を高めるための学習活動の工夫と、目的を踏まえた事前・事後指導の充実を図ります。



自然学校

○あいさつの実践

日頃からあいさつが交わせる、明るく温かいまちづくり、学校づくりをめざし、学校・家庭・地域が連携した啓発・実践活動に取り組みます。

2-3 健やかな体の育成

○部活動の新たな形に向けて **拡充**

令和8年度から休日の部活動において原則、教職員が従事しなくてもよい環境づくりをめざす兵庫県教育委員会の方針にのっとり、学校・地域が連携し、中学生がスポーツや文化芸術活動に継続して親しむことができる環境づくりを進めます。休日の部活動については、種目の実情に応じて学校に代わり地域クラブが休日活動を担う「地域展開」や、専門的な知識と技術を有する部活動指導員が教職員に代わり部活動指導を行う「地域連携」により、持続可能な活動機会の創出をめざします。「学校単位」から「地域単位」の活動へ、「教員」主体から「地域指導者」主体の指導体制へと移行する学校部活動改革について、市民への周知徹底を図ります。

2-4 社会的自立に必要な資質・能力・態度の育成

○キャリア教育の推進

各教科や児童会・生徒会活動、学校行事等を通じた社会参画や、保護者や地域、関係機関等と連携した自然体験や社会体験等を通じ、子どもたちが将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するため、変化や失敗を恐れず、前向きに受け止め対応していく力や態度を育成し、社会的・職業的自立の基盤となる「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」を育成します。



トライやる・ウィーク報告会

2-5 特別支援教育の充実

○「個別的教育支援計画（サポートファイル）」を活用した関係機関との連携強化

一人一人の教育的ニーズに応じた個別的教育支援計画を保護者とともに作成し、各保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高等学校の学校園間で確実に引き継ぎ、情報共有することで、一貫した指導・支援を行います。

○特別な支援が必要な子どもの早期発見・早期支援

巡回相談事業により、臨床心理士、保健師等が保育園・幼稚園・こども園を訪問し、観察、助言、指導を行います。また、保護者との連携を図るとともに、特別支援学校や医療、福祉機関等からの専門的な助言等を得ながら、よりよい支援を行います。

施策の基本方向3

子どもたちが自分らしく安心して過ごせる環境づくりの推進

3-1 安全安心で質の高い学習環境の整備

○安全で安心な学校園づくり

学校園安全計画等、各種マニュアルに基づく訓練や研修、施設の安全点検を通して、事故の未然防止、救急対応に係る校内体制を充実させます。また、関係機関と情報の共有化を図り、家庭・地域と連携した安全で安心な教育環境づくりを推進します。



不審者対応訓練

○教育DXの実現に向けた教育の情報化の推進

デジタル教科書やデジタル教材を効果的に活用した授業づくり等、ICTの効果的な活用を一層促進し、「個別最適化学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。令和8年度は、児童生徒一人一台端末を更新します。



ICT活用に関する校内研修

3-2 多様性の尊重と包摂性のある教育の推進

○障がいのある子どもたちへの合理的配慮の提供

各学校園において、障がいのある子どもが、障がいのない子どもと平等に人権を享受し行使できるよう、一人一人の特徴や場面に応じて生じる困難さを取り除くための個別の調整や変更を実施します。そのために必要となる教職員等を対象とした研修会の実施および基礎的環境整備を進めます。

○帰国・外国人園児児童生徒支援事業の充実

NPO法人篠山国際理解センターと連携し、母語支援・日本語指導が必要な帰国・外国人園児児童生徒に対して、母語支援や日本語指導を実施することにより、生活適応による心の安定や学力保障、進路指導の充実を図ります。

3-3 地域とともにある学校づくり

○コミュニティ・スクールの推進 **拡充**

学校園、保護者、地域住民等が熟議（熟慮と討議）と協働を通して、学校園、地域の課題を共有し、共通の目標・ビジョンを持って、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校園づくり」に取り組みます。地域学校協働活動の充実に向け、「地域学校協働活動推進員」の配置等、地域と学校の連携体制の研究を進めます。



学校運営協議会と
生徒会役員の懇談会

3-4 家庭・地域との協働による豊かな学びの推進

○青少年健全育成団体との連携強化

青少年協議会、PTA、子ども会等の青少年育成団体と地域住民の参画と協働を得て、子どもの居場所づくり事業などの地域学校協働活動に取り組み、地域の子育てや子どもの安全・安心な地域ぐるみの教育支援活動の環境づくりに努めます。



保護者・地域と連携した
地域行事

3-5 関係機関等との連携強化

○相談体制の充実

いじめや暴力行為等の問題行動や不登校の未然防止および早期解決を図るため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーや「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーの配置・派遣を充実します。また、児童生徒や保護者、教職員との心の相談や発達相談・教育相談を行います。



スクールソーシャルワーカー
による出前授業

3-6 教職員の資質能力の向上

○教職員の勤務時間適正化および業務の効率化の推進 **拡充**

教職員が心身ともに健康を保ちながら、児童生徒一人一人と向き合える働きやすい職場づくりを進めるため、統合型校務支援システムの活用やスクールサポートスタッフの配置、部活動指導員配置を含めた部活動の地域連携・地域展開の推進等、教職員の業務の効率化と業務負担の軽減を図り、勤務時間の適正化を進めます。令和8年度から、業務量管理・健康確保措置実施計画に基づき、教職員の適切な労働環境を構築します。



休み時間における幼稚園児
と小学生の交流

3-7 保幼小中高大の連携

○保幼小連携の推進

私立園も含め、保育園・幼稚園・こども園の保育内容、指導方法等についての情報交換を行う等、連携を図り、幼児期の教育を充実させます。

○幼小小連携の強化

幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続をめざし、地域や各園の実情に応じた接続期のカリキュラム（幼児期の学びが小学校の生活や学習で生かされてつながるように工夫された5歳児のカリキュラム）とスタートカリキュラム（小学校に入学した1年生が、園での遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム）を活用し、幼稚園・こども園と小学校の連携充実を図ります。



幼稚園児と小学生で
いちご狩り

施策の基本方向4

人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

4-1 主体的に生きるための学びと場の充実

○「第2次丹波篠山市立図書館ビジョン」による図書館運営 **拡充**

あらゆる世代に応じた図書館事業をボランティア等との協働によって推進します。新たな取り組みとして「ぶら~っとサンデー」と銘打って奇数月第4日曜日に楽しい開放的なイベントを開催するほか、乳幼児とその保護者に対するサービスとして一時保育サービスを年4回に拡充します。このほか児童生徒を対象とした図書館員体験や親子で楽しむ催し、乳児と保護者に対する「ブックスタート」、幼児へのおはなし会、高齢者施設への出張図書館等を実施します。



協明子さんの講演会

○外国人住民に対する学習支援

NPO法人篠山国際理解センターと連携し、外国人住民を対象とした日本語教室「うりぼう」・外国につながる子ども（外国籍児童生徒および日本国籍であるものの両親のどちらかが外国籍である児童生徒）を対象とした学習支援教室「うりぼうくらぶ」の開催等、外国人住民を対象に充実した学習支援を実施します。



うりぼうくらぶ

○地域映像の収集と活用 **拡充**

地域の出来事やまちづくりの取り組みを映像で記録・保存活用を進め、インターネット配信で広く周知します。令和8年度は、身近な題材を映像で表現し、将来的に地域行事や記録映像の制作を担う地域映像ボランティアを育成するため、「地域映像制作チャレンジ講座（仮）」を開催するとともに、老朽化した所有機材の更新を計画的に行います。

○丹波篠山市史編さん事業

令和2年度から着手した古文書や古写真等の歴史資料の収集・調査を実施し、地域資料として保存・活用を図ります。また、令和8年度末には初となる丹波篠山市史「自然環境編」を刊行します。



市民と学生による資料整理

4-2 スポーツの推進

○スポーツ活動の充実と推進

市民誰もがスポーツを楽しむことができる環境を整備します。また、中学校部活動の地域展開に向けた受け皿整備および受け皿となる団体等の支援について、各競技団体と連携し、検討します。

○丹波篠山ABCマラソンの開催

市民参画や関係機関との連携により、安全安心で魅力ある大会を運営し、マラソンを通して健康で活力あるまちづくりを推進します。



丹波篠山ABCマラソン

4-3 歴史文化遺産の学びと継承

○重要伝統的建造物群保存地区における町並みの保存と活用

保存地区（篠山・福住）の環境整備と町並み景観の向上を地区住民と連携しながら進めます。また、篠山城下町地区の町並みを後世に守り伝えるための取り組みを進めます。



伝建地区町歩き勉強会

○丹波焼の保存と活用の推進

日本六古窯の一つで、日本遺産に認定されている丹波焼の歴史的価値を明らかにするために、文化学術調査研究を実施するとともに、その成果を陶の郷の歴史展示に生かします。